

令和5年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和4年8月10日

上場会社名 株式会社ナガホリ 上場取引所 東
 コード番号 8139 URL http://www.nagahori.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長堀 慶太
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 吾郷 雅文 TEL 03-3832-8266
 四半期報告書提出予定日 令和4年8月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和5年3月期第1四半期の連結業績（令和4年4月1日～令和4年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年3月期第1四半期	4,057	7.1	5	-	26	-	△86	-
4年3月期第1四半期	3,789	-	△23	-	△26	-	△88	-

(注) 包括利益 5年3月期第1四半期 △93百万円 (-%) 4年3月期第1四半期 △79百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
5年3月期第1四半期	△5.67	-
4年3月期第1四半期	△5.76	-

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、令和4年3月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
5年3月期第1四半期	24,263	11,935	49.2	778.27
4年3月期	23,863	12,059	50.5	786.37

(参考) 自己資本 5年3月期第1四半期 11,935百万円 4年3月期 12,059百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、令和4年3月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
4年3月期	-	0.00	-	2.00	2.00
5年3月期	-				
5年3月期(予想)		0.00	-	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 令和5年3月期の連結業績予想（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,300	△0.6	120	6.0	120	25.7	△35	-	△2.28
通期	17,000	0.4	400	38.8	350	38.3	200	22.0	13.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	5年3月期1Q	16,773,376株	4年3月期	16,773,376株
② 期末自己株式数	5年3月期1Q	1,437,974株	4年3月期	1,437,859株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	5年3月期1Q	15,335,421株	4年3月期1Q	15,335,547株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の継続やワクチン接種3回目の進捗により、経済活動の制限も徐々に緩和され、景気回復への動きが進んでいます。しかしながら、サプライチェーンの混乱、円安、ロシアによるウクライナ侵攻に伴うエネルギー価格高騰などの物価を押し上げる要因が重なり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

ジュエリー業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の感染状況が沈静化へ向かい、まん延防止等重点措置等の制限もなくなったことで外出機会が増加し、個人消費は持ち直しの動きがみられました。一方、急激な円安の進行や、ロシアによるウクライナ侵攻のジュエリー商品への影響など、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは、富裕層マーケットをコアとする販売チャネルや商品ブランドに重点的に経営資源を投下する「選択と集中」の方針のもと、感染症対策を施した環境での自社催事や顧客催事等の販売活動に取り組みました。また、財務の安定のため当座貸越契約締結による財務基盤強化、販売増につながる商品仕入による必要在庫の維持や経費支出のコントロール等を図るとともに、インターネット販売等のITツールを活用した営業体制を強化し、自社ブランドの販売促進等にも取り組んでおります。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は40億57百万円（前年同期比 7.1%増）、営業利益5百万円（前年同期 営業損失23百万円）、経常利益26百万円（前年同期 経常損失26百万円）と黒字を確保しましたが、本日公表の「特別損失の計上及び令和5年3月期第2四半期（累計）の業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、アドバイザー費用92百万円を特別損失に計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純損失86百万円（前年同期 親会社株主に帰属する四半期純損失88百万円）となりました。

なお、セグメント業績は以下のとおりであります。

宝飾事業の売上高は40億22百万円（前年同期比 7.2%増）、セグメント損失は17百万円（前年同期 セグメント損失43百万円）、貸ビル事業の売上高（外部顧客）は20百万円（前年同期比 1.4%増）、セグメント利益は14百万円（同 39.4%増）、太陽光発電事業の売上高は14百万円（同 11.4%減）、セグメント利益は7百万円（同 18.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、242億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億99百万円の増加となりました。

流動資産は172億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億81百万円の増加となりました。これは主に受取手形及び売掛金が1億70百万円、商品及び製品が1億91百万円それぞれ増加したことによります。

固定資産は70億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ81百万円の減少となりました。これは主に有形固定資産が32百万円減少したことによります。

(負債)

負債は123億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億24百万円の増加となりました。

流動負債は106億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億54百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金が1億13百万円、短期借入金が3億円それぞれ増加したことによります。

固定負債は16億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ30百万円の減少となりました。これは主に長期借入金が28百万円減少したことによります。

(純資産)

純資産は119億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億24百万円の減少となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失86百万円および剰余金の配当30百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和5年3月期第2四半期（累計）の連結業績予想につきましては、令和4年5月13日発表の業績予想を修正しております。

詳細は本日公表の「特別損失の計上及び令和5年3月期第2四半期（累計）の業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、令和5年3月期通期の連結業績予想につきましては、令和4年5月13日発表の業績予想からの変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和4年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,526,326	3,466,547
受取手形及び売掛金	2,583,097	2,754,078
商品及び製品	9,305,937	9,497,700
仕掛品	329,552	346,817
原材料及び貯蔵品	736,448	813,137
その他	280,547	364,741
貸倒引当金	△17,103	△17,090
流動資産合計	16,744,806	17,225,931
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,434,438	1,412,934
機械装置及び運搬具(純額)	173,044	166,137
土地	3,300,254	3,300,254
その他(純額)	266,792	262,721
有形固定資産合計	5,174,530	5,142,048
無形固定資産	30,957	37,700
投資その他の資産		
投資有価証券	1,022,881	1,022,268
長期貸付金	19,711	19,661
繰延税金資産	128,219	127,830
その他	956,675	901,606
貸倒引当金	△213,976	△213,266
投資その他の資産合計	1,913,511	1,858,100
固定資産合計	7,118,999	7,037,849
資産合計	23,863,805	24,263,780

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和4年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	775,208	888,826
短期借入金	8,670,000	8,970,000
1年内返済予定の長期借入金	115,504	115,504
未払法人税等	72,788	42,741
賞与引当金	57,794	28,515
役員賞与引当金	4,200	5,250
その他	416,196	615,481
流動負債合計	10,111,691	10,666,319
固定負債		
長期借入金	562,880	534,004
退職給付に係る負債	643,057	639,277
役員退職慰労引当金	225,261	229,902
繰延税金負債	8,958	5,924
再評価に係る繰延税金負債	48,841	48,841
その他	203,676	204,464
固定負債合計	1,692,674	1,662,414
負債合計	11,804,366	12,328,733
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,323,965	5,323,965
資本剰余金	6,275,173	6,275,173
利益剰余金	1,638,874	1,521,319
自己株式	△481,433	△481,520
株主資本合計	12,756,580	12,638,938
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,297	13,423
土地再評価差額金	△732,828	△732,828
為替換算調整勘定	15,389	15,513
その他の包括利益累計額合計	△697,142	△703,891
純資産合計	12,059,438	11,935,047
負債純資産合計	23,863,805	24,263,780

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)
売上高	3,789,753	4,057,602
売上原価	2,802,647	3,006,682
売上総利益	987,105	1,050,919
販売費及び一般管理費	1,010,672	1,045,248
営業利益又は営業損失(△)	△23,566	5,670
営業外収益		
受取利息	26	27
受取配当金	11,517	11,863
為替差益	1,069	9,186
保険戻戻金	1,510	13,936
その他	4,909	6,671
営業外収益合計	19,033	41,685
営業外費用		
支払利息	20,862	20,453
その他	935	556
営業外費用合計	21,797	21,010
経常利益又は経常損失(△)	△26,330	26,345
特別利益		
固定資産処分益	—	1,000
助成金収入	79,356	8,390
特別利益合計	79,356	9,390
特別損失		
投資有価証券評価損	31,682	—
新型コロナウイルス対応による損失	87,833	4,702
アドバイザー費用	—	92,958
特別損失合計	119,515	97,661
税金等調整前四半期純損失(△)	△66,489	△61,925
法人税、住民税及び事業税	25,564	24,570
法人税等調整額	△3,666	388
法人税等合計	21,898	24,959
四半期純損失(△)	△88,387	△86,884
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△88,387	△86,884

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)
四半期純損失(△)	△88,387	△86,884
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,925	△6,873
為替換算調整勘定	43	124
その他の包括利益合計	8,969	△6,749
四半期包括利益	△79,418	△93,633
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△79,418	△93,633
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 令和3年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自令和3年4月1日 至令和3年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	宝飾事業	貸ビル事業	太陽光発電 事業	計		
売上高						
一時点で移転される財	3,753,388	—	—	3,753,388	—	3,753,388
一定の期間にわたり 移転される財	—	—	16,203	16,203	—	16,203
顧客との契約から 生じる収益	3,753,388	—	16,203	3,769,591	—	3,769,591
その他の収益	—	20,161	—	20,161	—	20,161
外部顧客への売上高	3,753,388	20,161	16,203	3,789,753	—	3,789,753
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,147	—	3,147	△3,147	—
計	3,753,388	23,308	16,203	3,792,900	△3,147	3,789,753
セグメント利益又は 損失(△)	△43,948	10,571	9,811	△23,566	—	△23,566

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自令和4年4月1日 至令和4年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	宝飾事業	貸ビル事業	太陽光発電 事業	計		
売上高						
一時点で移転される財	4,022,805	—	—	4,022,805	—	4,022,805
一定の期間にわたり移転 される財	—	—	14,354	14,354	—	14,354
顧客との契約から生じる 収益	4,022,805	—	14,354	4,037,159	—	4,037,159
その他の収益	—	20,442	—	20,442	—	20,442
外部顧客への売上高	4,022,805	20,442	14,354	4,057,602	—	4,057,602
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,147	—	3,147	△3,147	—
計	4,022,805	23,589	14,354	4,060,749	△3,147	4,057,602
セグメント利益又は 損失(△)	△17,024	14,735	7,959	5,670	—	5,670

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。